

第4回遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
WGⅡ「教育・普及のための教材づくり」について【要旨】

1. 第3回合同部会での決定事項の確認

1) 教材で取り上げるテーマ

- ①「渡良瀬遊水地とは…(導入)」
- ③「渡良瀬遊水地の豊かな自然」

2) 対象学年

3、4年生を対象とした内容

3) 形式

A3二つ折り

2. 教材の趣旨の確認

・今回作成を検討している教材の活用方法について整理し、議論を進めたい。

1)「授業」での活用にこだわらず、例えば夏休みなどの「自由研究」で、親子で「自ら学ぶ」ための教材として活用してもらってはどうか。

2) 4市2町の学校以外で、渡良瀬遊水地を訪れた人にも幅広く使用してもらってはどうか。渡良瀬遊水地に人を呼び込むきっかけにもなる。

・以上の2点について、事前に各市町の教育委員会へ照会した意見を発表する。1)、2)の提案について、概ね賛成の意見であった。

・夏休みの自由研究の課題としては他にもコンクールなどがあり、既に手一杯な面もある。

・教育委員会以外のメンバーにも意見を求めるが、に異議は出なかったため、1)、2)の方針を進めることとする。

3. 教材のレイアウトについて

・いつまでに作成するかを決めておかないと先に進まない。

・ワークシート形式の例があれば示してもらいたい。

・他所のワークシートが参考になる。

・空スペースを設け、自由に書かせる。

・「こうしてほしい」という結果を作成側がイメージしながら作成する方がよい。

・子どもが興味を持つような全体像を示し、残り1/4のスペースでテーマを挙げる。

- ・ワークシートの部分は別の紙にしてはどうか。
- ・編集には専門家を入れないと厳しいのではないか。
- ・難しく教えるのではなく、「遊水地へ行った際に使える」ものがよい。
- ・アクリメーションで作成済のものをやさしい内容に作り替える方法もあるのではないか。
- ・「ここにはこういう生きものがある」、「自分でもっと調べてみたい」と興味を持ってもらえる内容がよい。
- ・3、4年生対象ならば、生きもの捕りで使える。生きものの分類作業を通じて興味を持ってもらえる。
- ・「遊びの延長」という内容ならば子どもたちも楽しめる。
- ・今回作成を検討している教材は「教え込む」ものではなく、「興味を持ってもらう」が前提であった。
- ・「導入」と「自然」以外のテーマはどうするか。
- ・まずはこの2テーマを取り上げ、その後他のテーマの作成に取り組む予定である。
- ・各自で構成イメージ案を出し合ってはどうか。

4. 次回に向けて

- ・次回の合同部会までに、(強制ではないが)各メンバーで教材の構成イメージ案を事前に出し合うこととする。